



かながわワイド

像を彩るモザイク画

清泉女学院 全校生徒1050人が制作

鎌倉

清泉女学院中
学高校(鎌倉市
城廻)の全校生徒約1050人が制作したモザイクアートが11日、同校の校舎内に完成した。同校の運営母

体となる聖心侍女修道会の創立者の聖ラファエラ・マリア・ポラス(1850-1925)像の周囲に彩りを添えている。スペインの修道女だった聖ラファエラ



生徒らが制作したラファエラ・マリア像を飾るモザイクアート
11日、鎌倉市城廻の清泉女学院中学校

が亡くなって
来年1月に100年を迎えることから同校が記念事業を計画。学校敷地内の広場前に置かれていた聖ラファエラ像の壁面が殺風景だったため、周囲を華やかに彩るモザイクアートの制作を

決めた。

モザイクアートは高さ2・7メートル。モザイクアーティスト岡田七歩美さんの指導で砕いた大理石のかげらやガラス片を生徒たちが敷き詰め、スペインをイメージしたオリーブやオレンジ、平和の象徴のハトなどを表現した。

(深沢 剛)

「ラファエラ・マリア帰天100周年委員」に志願してアート制作に携わった中学2年の岩村有彩さん(14)は「細かい所に石片をはめ込むのは難しかった。自分が手がけた作品がこの先、何年もここにあるのうれしい」と振り返った。

浜崎原賀塚倉沢原崎子浦野木和原
横川相模横平鎌藤小茅逗三秦厚大伊勢原